

# 健診結果報告書

サンプル事業所 サンプル所属

001

サンプル1

サンプル1 様

2014/2/24 3

受診日 平成26年02月24日 受診No: 3  
 事業所名 サンプル事業所  
 I D 2782  
 生年月日 昭和23年01月13日 年齢 66 性別 女  
 保険証 記号: 番号:  
 年齢は、平成27年03月31日 現在のものです。

総合判定 **D1** **要医療**

判定区分	項目	身体計測	血圧	視力	聴力	検尿	胸部X線	心電図	消化器官上部	血液検査							医師診察	
										白血球数	貧血	糖代謝	肝機能	脂質	腎機能	痛風		
A	異常なし	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
B	軽度異常																	
C	要経過観察			●							●		●					
D1	要医療		●															
D2	要精密検査																	
E	治療中																	

総合判定 ※視力、聴力は、総合判定に含んでおりません。

[総合判定・要医療] 今回の健診結果から、治療を要する所見を認めます。できるかぎり早いうちに受診してください。

- [D1] 高血圧症で治療が必要です。循環器科を受診してください。
- [C] 糖代謝が悪いようです。定期的な検査及び生活習慣改善の指導を受けてください。
- [C] 脂質異常症があります。食事と運動の両面から生活習慣を見直しましょう。
- 視力の低下が疑われます。見えにくいようなら、眼科を受診してください。

## 改善のポイント

- ☆ あなたには、タバコを吸いつづける理由よりも、もっと多くのやめるべき理由があります。喫煙指数が400を越えると肺がんの危険が急激に高まり、1200を越えると咽頭がんや喉頭がんなどの危険が及びます。今のうちに禁煙することが、自分自身と家族への最高のプレゼントです。
- ☆ 少量のお酒は、気分をリフレッシュさせ様々な健康効果も期待できます。ただし、日本人の約40%はお酒に弱いタイプ、さらに約4%は遺伝的にお酒を飲めないタイプです。お付き合いは限度をわきまえて。
- ☆ 家事や買い物、通勤なども、こまめに動けば立派な運動です。血圧や血糖値の改善にもつながります。ただし健康診断で所見が認められますので運動を行う前に、医師の指導をお受けください。
- ☆ 健康を維持する基本は、栄養が十分な食事です。間食は、基本的に必要なく、カロリーオーバーによって肥満や高血糖などを招きます。間食は控えめに。就寝前の飲食は、身体と食事の両方のリズムを乱します。摂ったエネルギーは消費されずに皮下や内臓に蓄えられます。遅くとも、就寝の3~4時間前までには食事を済ませましょう。
- ☆ 睡眠は、最良の疲労回復剤です。疲れが取れないようなら「睡眠障害」が疑われます。睡眠外来で詳しい検査を受けましょう。

項目	基準値	単位	判定	今回	前回	前々回
				平成26年2月24日	平成25年2月27日	平成24年2月29日
身体計測	身長	cm	A	147.9	148.2	149.0
	体重	kg		53.7	52.0	52.7
	標準体重	kg		48.1	48.3	48.8
	BMI	kg/m <sup>2</sup>		24.5	23.7	23.7
	腹囲	cm		89.9以下	80.0	80.0
	血圧	1回目		収縮期	D1	↑ 188
拡張期			↑ 95	75		85
2回目		収縮期	↑ 178			↑ 173
		拡張期	↑ 97			82

項目	基準値	単位	判定	今回	前回	前々回
				今回	前回	前々回
視力	裸眼(矯正)	右	C	0.6	0.6	0.6
		左		0.5	0.5	0.5
聴力	1000Hz	右/左	A	30以下	30以下	30以下
	4000Hz	右/左		30以下	30以下	30以下
	会話法	右/左		所見なし	所見なし	所見なし
検尿	尿蛋白	(-)~(±)	A	(-)	(-)	(-)
	尿潜血	(-)~(±)		(-)	(-)	(±)
胸部X線	撮影種別/番号		A	直接 4	直接 96	直接 137
	肺野所見	異常なし		異常なし	異常なし	
	心血管他所見	異常なし		異常なし	異常なし	
心電図	心電図 No		A		95	134
	所見	正常範囲		正常範囲	正常範囲	
消化器官上部	撮影種別/番号		A			
	所見	異常なし				
末梢血液	白血球数	3200~8900	A	4600	4000	4200
	赤血球数	360~519		451	467	458
	ヘモグロビン	12.1~15.9		12.5	12.9	12.9
	ヘマトクリット	35.5~46.9		39.6	41.5	40.6
糖代謝	血小板	×万/μl	C			88
	血糖値	109以下		↑ 5.7	↑ 5.8	
	HbA1c(NGSP)	5.5以下		(-)	(-)	(-)
肝機能	尿糖	(-)	A	20	19	18
	AST(GOT)	40以下		16	18	15
	ALT(GPT)	40以下		21	30	26
脂質	γ-GT(γ-GTP)	50以下	C	↑ 151	143	95
	中性脂肪	30~149		↑ 242	↑ 247	↑ 273
	総コレステロール	140~219		61	64	66
	HDLコレステロール	40~119		↑ 159	↑ 161	↑ 185
痛風	LDLコレステロール	60~139	A	尿酸	4.9	5.5
	尿酸	7.0以下		異常なし	異常なし	異常なし
オプション検査	医師診察		A			
	ALP	110~359		183	172	198
	クレアチニン	0.79以下		0.50	0.55	0.51
	食後時間			2:00	5:00	空腹時
HbA1c	5.4以下			5.4		

項目	基準値	単位	判定	今回	前回	前々回
ALP	110~359	IU/l	A	183	172	198
クレアチニン	0.79以下	mg/dl	A	0.50	0.55	0.51
食後時間				2:00	5:00	空腹時
HbA1c	5.4以下	%			5.4	

あなたは、メタボリックシンドローム **非該当** です。  
 ☆ 今回の健診の結果、あなたはメタボリックシンドロームには、該当しません。しかし、不適切な食生活、運動不足、喫煙、過度の飲酒など、不健康な生活習慣に心当たりのある方は、要注意です。日々の不摂生が積み重なると、数年後にはメタボリックシンドロームになってしまうことも考えられます。今から生活習慣に気をつけ、メタボリックシンドロームの予防に努めましょう。

病歴	特になし	自覚症状	特になし
嗜好品	飲酒 時々飲む 量:1合未満	喫煙	習慣的に吸う

※健診結果は個人情報保護法に基づき保健指導、報告作成以外の目的には使用いたしません。

医療法人サンプル会 サンプル病院 判定医師: サンプル 医師